

経営比較分析表

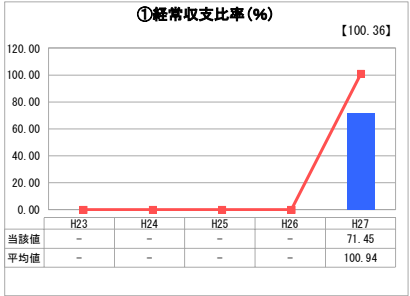
熊本県 合志市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	50.30	18.92	102.47
1か月20m ³ 当たり家産料金(円)			
2,310			

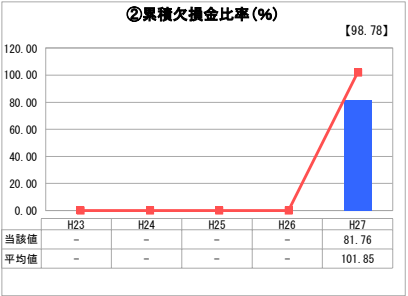
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,702	53.19	1,122.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,355	3.86	2,941.71

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 平成27年度全国平均

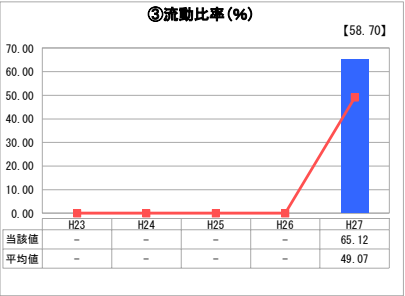
1. 経営の健全性・効率性



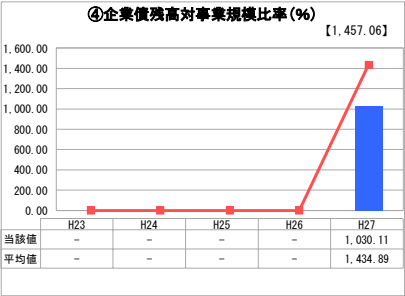
「経常損益」



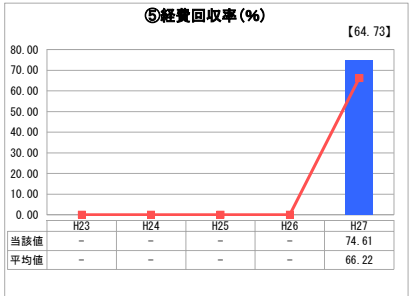
「累積欠損」



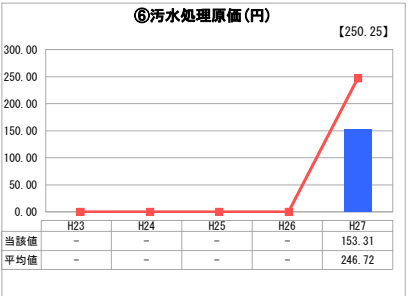
「支払能力」



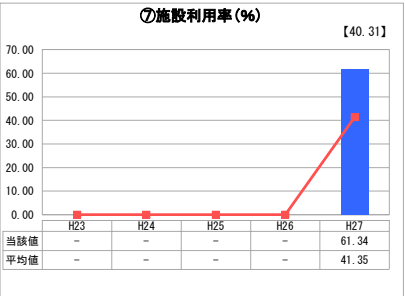
「債務残高」



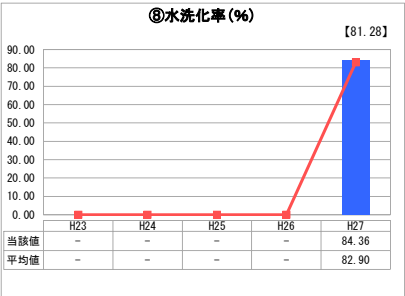
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

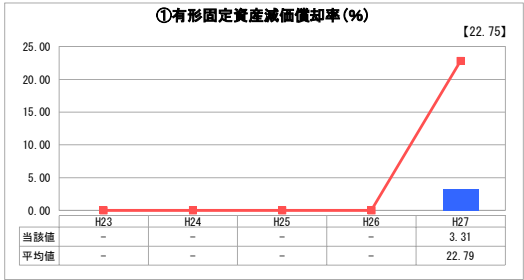


「施設の効率性」

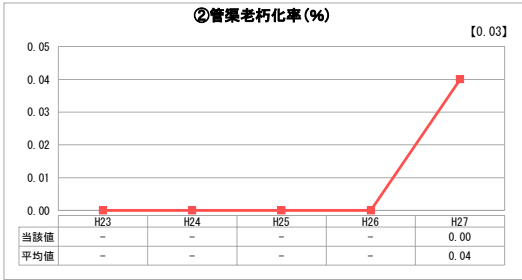


「使用料対象の捕捉」

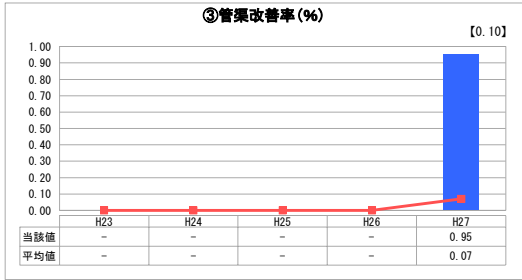
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率等の改善
平成27年度から地方公営企業会計移行に伴い前年度値はない。経常収支比率は71.45%で単年度赤字であり、一般会計からの繰入金にも依存している。経費回収率も高いとはいえ、適正な料金設定を早急に検討する必要がある。施設の老朽化のため、改築更新が必要となるが、重要度を選択し行うよう計画を見直す。

2. 老朽化の状況について

平成28年度より、管路調査で更新すべきと判断した管路(市内合計約800m)等について設計測量を行い、更正を順次行っている。

全体総括

下水道の供用開始から20年以上が経過しており、各施設において老朽化による故障等が懸念されるため、施設の更新計画及び財政計画の見直しが必要となる。
水洗化率は8割を超えているが、水洗化促進が難しくなっている。一層の水洗化促進のため、助成制度の改正(助成額を工事費の8%→20%への引き上げ、及び助成要件緩和)を平成26年度に行い、水洗化率の改善を目指しており、前年度比1.42%改善をした。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の実績数を基に類似団体平均値を算出しています。